

学校を飛び出して、
地元で活躍するオトナを取材しよう！

情熱みたいなのは 常に持ち続けて いたいですね。

太平洋工業株式会社
人事部長 竹中拓也さん



自動車部品を作っている太平洋工業株式会社で人事部長の仕事がされている竹中拓也さんに会社の事や、お仕事についてお話を伺いました。

Q 貴社の魅力を三つに絞るとすればどんなところだと思いますか？

一番目は高い技術力を持っていることだと思えます。国内でいえばタイヤバルブは100%です。タイヤバルブはタイヤの中の空気を逃がさないようにする製品です。太平洋工業が無くなっちゃうと、日本中の車は走れなくなるんですよ。さらに、高い技術力を持っていることで岐阜にいなながら世界と戦え、海外の会社とも売買できる。とても力がある会社だと思います。

二つ目は人に優しい会社だと思います。人事の仕事をしていると人に絡む仕事が多いんです。そうした時にうちの会社は人に優しいと思う事が多いですね。

三つ目は地域貢献をしているという事です。我が社には「グローバル」という言葉があります。世界中に拠点を構え、モノづくりをして製品を販売していくという意味のグローバル。そして、進出した以上は国内であるうが海外であるうがその地域の人と共に繁栄していきたい、という考え方のグローバル。それらを組み合わせ

せて我が社は「グローバル企業」でありたいと考えています。新しい工場を建てることで、今まで遠くに働きに出ていた人が地元に戻って来てその地域が豊かになればいいなと思っています。



して持つべきです。「挑戦心」がある人も大事ですね。感謝や信頼する、される。そして、夢を持って仕事をするのも大切だね。そういった事が求める人物像の中心にあると思います。

あとは、採用試験の前に仕事を疑似体験してもらいます。その中で活躍できる人材、任せられた仕事を最後までやりきる責任感がないとダメだということなどを皆さんにお伝えしています。だから決して頭のいいばかりを採用している訳ではなくて、そうした所を見ながら採用しています。

Q 竹中さんが太平洋工業に入社を決めた理由はなんですか

僕が受けた会社の中で一番僕を必要としてくれていると思ったからです。

僕が大学を卒業する頃はいわゆるバブルの時代でした。



Q 仕事をする中で一番大切にしていることはなんですか？

前と同じ仕事をしないことです。去年と同じだと同じことの繰り返しになって成長が感じられないでしょう。している仕事は一緒です。だけど、今年はずっと内容を良くするには「あんなことやってみようかな」という改善をし、より良くする考え方を持つことは大事にしています。

仕事をする中で情熱は常に持ち続けていたいですね。

Q 採用の仕事の中で一番難しい仕事はなんですか？

採用の仕事には向き不向きがあります。僕はあまり大変だとは感じていなくて、すごく好きな仕事です。だけどモノづくりをした人を探して、その中でさらにいい人を採用しなきゃならなくて、なかなかいい人を採用するのが難しい、そこは大変ですね。後は毎年高校生を30人くらい、大学生は15人くらい採用するんです。たくさん応募がある中でそこから20人30人しか採用できない、そうした難しさがあります。

Q 人事のお仕事で嬉しかったことはなんですか？

嬉しかったことは色々な人の人生の節目に立ち会えることです。例えば採用活動をしていいなって思った人を採用する。そして入社式で学生から社会人への節目に立ち会えるというのはすごく嬉しいんです。後は定年退職のときに退職のセレモニーをするんですね。そういう時に今までを振り返って話されるのを聞くと嬉しいですね。

Q 貴社ではどのような人を求めていますか？

「夢と挑戦」、「信頼と感謝」は普遍的な価値観と



【感想】

私は今回のプログラムを通してたくさん事を学ぶことが出来ました。

竹中さんのお話はとてもためになる事ばかりで、仕事に対する情熱や、進歩を求める姿勢はとても大切だなと感じました。求められる人材は今後の就職活動などが必要になると思うので意識していきたいです。今回のお話を今後の生活に活かしていきたいと思えました。また、工場に訪問した時には沢山のの方に歓迎して頂きました。工場見学もさせて頂き、太平洋工業について精一杯伝えたい、と思えました。

そして、協力する事や、敬語や挨拶などの礼儀も学ぶことが出来ました。初めてで分からないことだらけな時に関わっている皆さんには沢山助けてもらいました。

今回の貴重な体験を今後の学校生活、そして社会人としての生活で大切に生きていきたいと感じました。